

大六小避難拠点20周年 防災イベントを実施しました！

2024年11月17日（日）、大六小において避難拠点の20周年防災イベントを実施いたしました。晴天の中、約340名と多くの皆様にご参加いただき、防災に関するさまざまな訓練を、楽しみながら体験をしていただきました。

● 訓練の様子



● 訓練内容

スタンプラリー	体験や訓練を回って防災グッズをもらえるスタンプラリーを行いました。
避難者受付訓練	避難者受付の訓練を行いました。
起震車体験	起震車を使った震度7の地震体験を行いました。
煙体験	煙ハウスを使って、火事起きた場合の室内での煙体験を行いました。
高所作業車体験	NTT東日本様の高所作業車に乗車体験を行いました。
応急処置訓練	応急手当のやり方について講習を行いました。
AED訓練	AEDの使い方について講習を行いました。
スタンドパイプ放水体験	消火栓から消火用水や飲料水を取水できるスタンドパイプを使った放水体験を行いました。
炊き出し	アルファ米を使って、カレーの炊き出しを行いました。
ねり丸イベント	ねり丸が防災イベントに駆けつけてくれました。
わたがしコーナー	参加されたお子さまにはわたがしを配りました。
協力企業出展	NTT東日本、東京電力、水道局、地域包括センターから防災の取り組みを紹介いただきました

みなさま、ご参加ありがとうございました

在宅での避難生活を考えよう！

在宅避難の 考え方

地震が起こったとしても、自宅や周辺に火災の心配がなく、また建物が倒壊の恐れがない場合には、避難する必要がありません。避難拠点(区立の小中学校)での生活は体育館で寝泊まりするなど不自由で、ストレスや過労から体調を崩してしまうこともあります。

避難拠点への避難は最後の手段です。

地震
発生!

▶ 即、避難拠点ではありません

○避難拠点でできること

避難拠点における感染症対策が必要となり、大六小避難拠点の収容人数は従来の約700名から、今後は500名近くとなり3割ほど減少となります。

避難拠点での避難とならないように、在宅での避難ができるように日頃から家庭での準備を心がけていただければと思います。

・自宅が被災して倒壊や火災にて安全に住むことができない人の受け入れ

※避難所はあくまで一時的な避難所であり、長期滞在は想定されていません。

※車での避難、車両での避難生活はできません。

※ペットとの同行避難（ペットは人とは別の屋外での避難となりますのでゲージ、リード、餌などを避難時に準備してください）

・被災後の物資の配給（食糧や日用品などの救援物資が避難所へ届けられてから）

※被災直後は毛布、水、食料などが配られる（被災直後は700名分の物資しか貯蓄されていません）

・被災にてけがをされた方の応急手当

※重傷者の受け入れはできません（公的機関への通報して対応）

・復旧、復興関連情報の提供

■ 避難拠点の活動について、ご興味ご質問等ございましたら以下までご連絡ください。

連絡先
南大泉4-4丁目町会、5丁目町会、6丁目町会の会長、役員の方
または 練馬区 危機管理室 区民防災課 区民防災第二係
e-mail : KUMINBOUSAI02@city.nerima.tokyo.jp tel : 03-5984-2605（直通）